

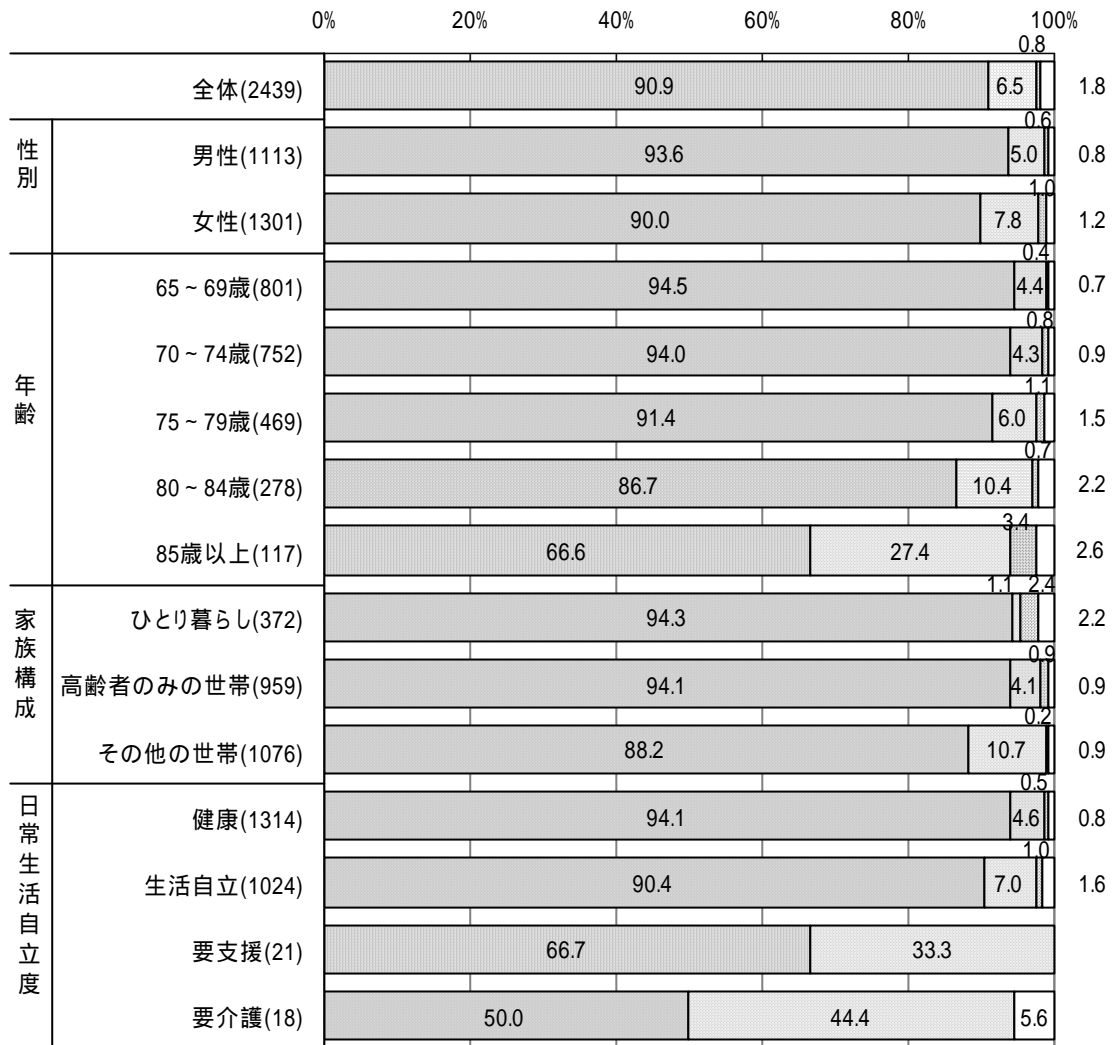
第2 調査結果

1 調査票の記入者

全体では、90.9%が「本人」が記入しています。

性別では、女性が「本人」が男性に比べて低くなっています。年齢別では、高齢になるほど「本人」が低くなっており、特に85歳以上では「本人」が66.6%となっています。家族構成別では、その他の世帯で「本人」が低くなっています。また、日常生活自立度別では、自立度が低くなるほど「本人」が低く、要介護では「本人」が50.0%となっています。

図1 - 1 調査票の記入者



□ 本人 □ 同居の家族 □ その他 □ 無回答

() 内は有効回答数

2 基本属性

(1) 性別・年齢別

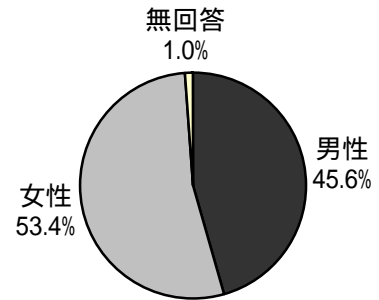
調査対象者の性別は、男性が 45.6%、女性が 53.4%です。

年齢構成をみると、65～74歳の前期高齢者が63.7%を占め、75歳以上の後期高齢者が35.4%を占めています。男性では、前期高齢者64.4%、後期高齢者35.5%であり、女性では、前期高齢者63.9%、後期高齢者35.6%となっています。

地区別に後期高齢者の割合をみると、西部が最も高く43.9%、次いで中央部が40.2%、南部が39.5%となっています。

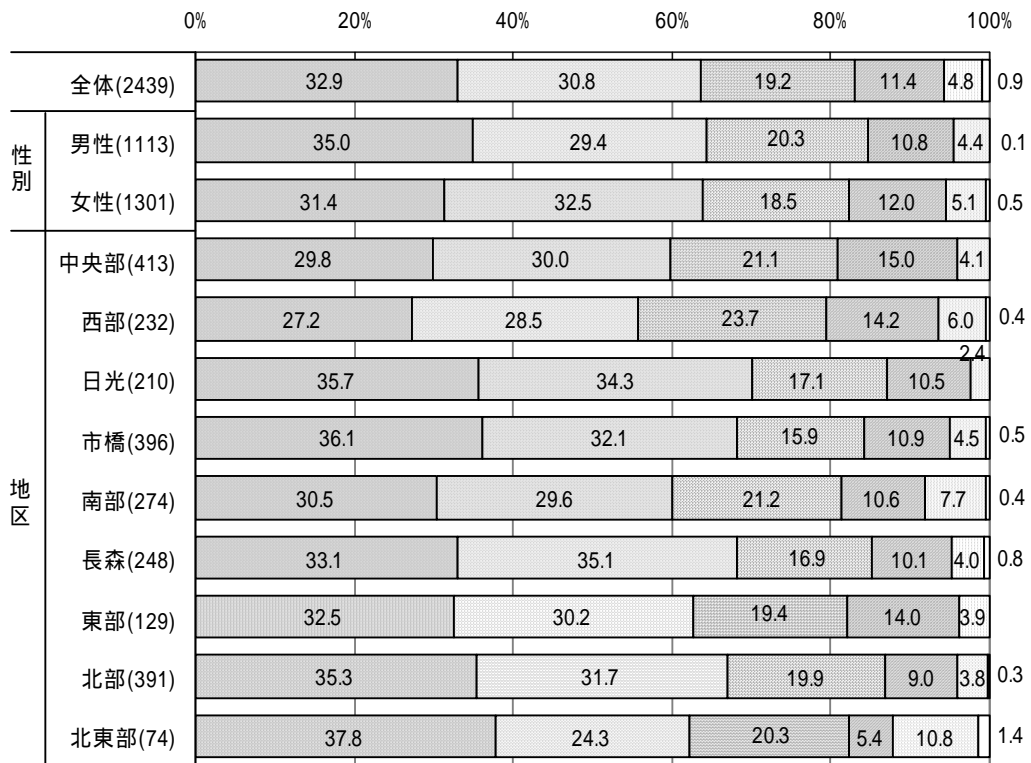
下図は、平成15年10月1日現在の実際の人口比率ですが、今回の調査では、前期高齢者の比率が実際に比べて高くなっています。特に女性において実際に比べて高くなっています。

図1-2 性別



(有効回答数; 2439件)

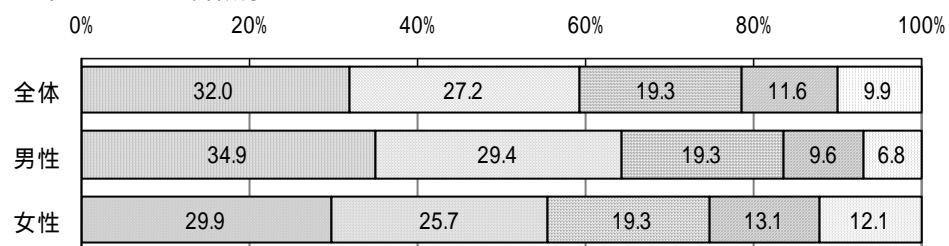
図1-3 年齢別



□ 65～69歳 □ 70～74歳 □ 75～79歳 □ 80～84歳 □ 85歳以上 □ 無回答

()内は有効回答数

図1-4 住基による年齢別

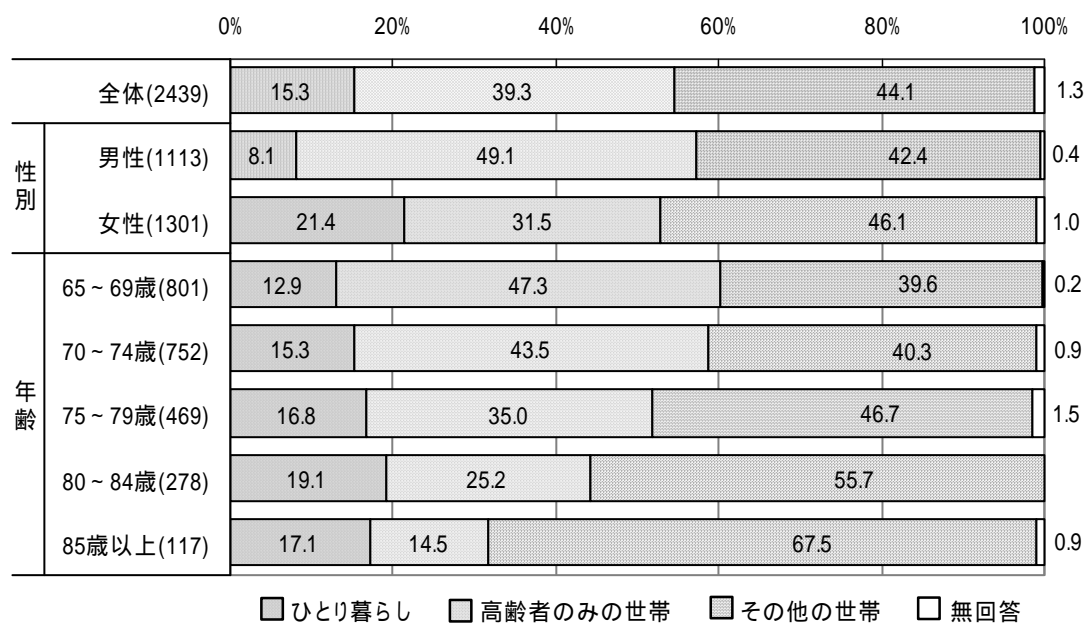


□ 65～69歳 □ 70～74歳 □ 75～79歳 □ 80～84歳 □ 85歳以上

(2) 家族構成

家族構成は、「ひとり暮らし」が15.3%、「高齢者のみの世帯」が39.3%となっています。性別にみると、「ひとり暮らし」は女性で高く、「高齢者のみの世帯」は男性で高くなっています。年齢別では、「高齢者のみの世帯」が年齢が若くなるほど高くなっています。

図1 - 5 家族構成



()内は有効回答数

3 日常生活自立度

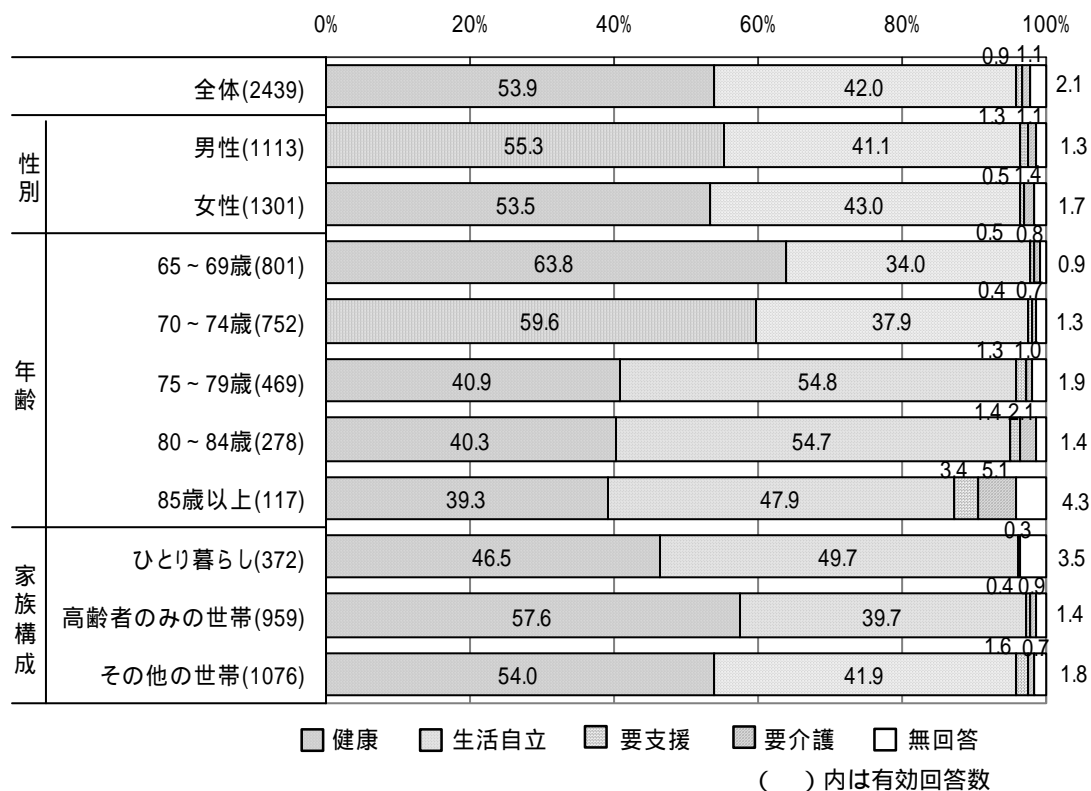
日常生活自立度は、「健康」が53.9%、「生活自立」が42.0%、「要支援」「要介護」は合わせて2.0%となっています。この調査は、要介護認定を受けていない人を対象としており、「要支援」「要介護」を合わせた2.0%は要介護認定相当の自立度であるにもかかわらず認定を受けていないと言えます。

性別では大きな差異はみられません。

年齢別にみると、前期高齢者と後期高齢者で傾向が明確に異なり、後期高齢者では「健康」が約4割となっています。また、85歳以上では「要支援」「要介護」を合わせた割合が8.5%となっています。

家族構成別にみると、「ひとり暮らし」は「健康」が低くなっています。

図1 - 6 日常生活自立度



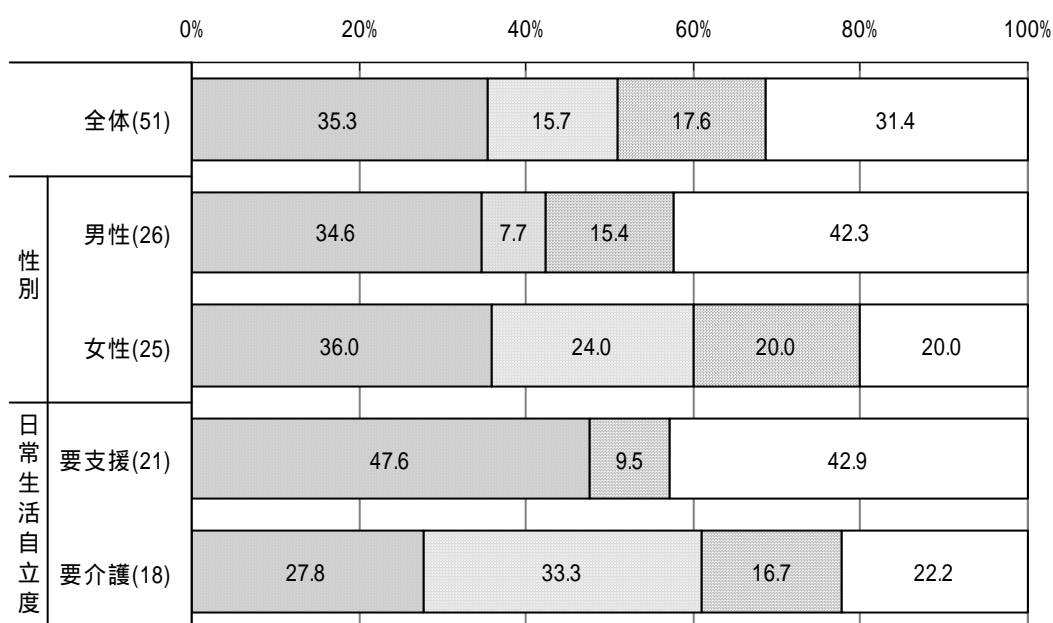
4 要支援・要介護と答えた人の要介護認定

(1) 要介護認定の申請

日常生活自立度を「要支援」「要介護」と回答した人に要介護認定の申請状況をみると、「申請するつもりはない」が35.3%、「申請中」が15.7%となっています。「すでに要介護認定を受けている」が17.6%ありますが、調査対象者の抽出の時期とアンケート記入時の差によるものと考えられます。

性別にみると、女性で「申請中」が高くなっています。日常生活自立度別では、要介護の人では、「申請中」が高く33.3%となっています。要支援の人では、半数に近い47.6%が「申請するつもりはない」と回答しています。

図1 - 7 要介護認定の申請



申請するつもりはない
 申請中
 すでに介護認定を受けている
 無回答
 (注) 「申請をしたが『自立(非該当)』になった」という選択肢があったが該当者はいなかった

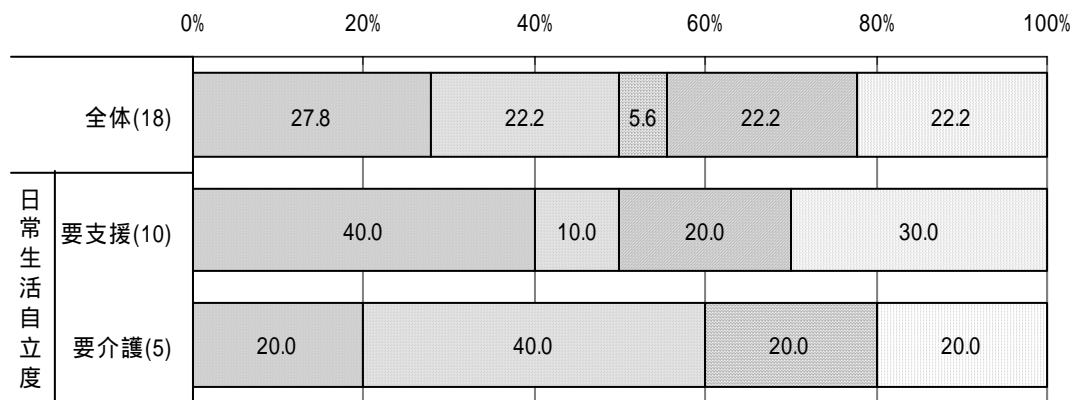
()内は有効回答数

(2) 要介護認定を申請しない理由

「要支援」「要介護」と回答した人のうち「申請するつもりはない」と回答した人の理由をみると、「介護保険サービスを利用するほどの状態ではない」が27.8%、「家族で介護するので介護サービスを利用するつもりはない」「入院・治療をしている」「その他」が各々22.2%となっています。

日常生活自立度別では、有効回答が少ないため、傾向としての言及は困難ですが、その中で傾向をみると、要支援の人では「介護保険サービスを利用するほどの状態ではない」が高くなっています。

図1-8 要介護認定を申請しない理由



- 介護保険サービスを利用するほどの状態ではないと思う
- 家族で介護するので介護保険サービスを利用するつもりはない
- 申請の手続きなどがわからない・めんどうだから
- 入院・治療をしているから
- その他

(注)無回答の該当者はいなかった

()内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

今のところ元気だから。(8件)

そんなにひどくないので。(3件)

現在申請するつもりはないが、今後は分からない。(2件)

自分で働いて生活しています。(2件)

お金がかかるから利用できない。(2件)

酸素吸入をし、ゆっくりした動作で出来る間は介護を利用しないつもり。

本人が家が一番いいというから。

はずかしい。

足が痛いのでリハビリしている。

1がよいと思うが保険料の高いのもその限度による。

外出等は主人の車で。
 そのときの状態により。
 他の人では嫌だから。
 主人がデイケアに世話になっている。
 本人が希望しない。
 今すぐではないがもう少ししてから申請です。

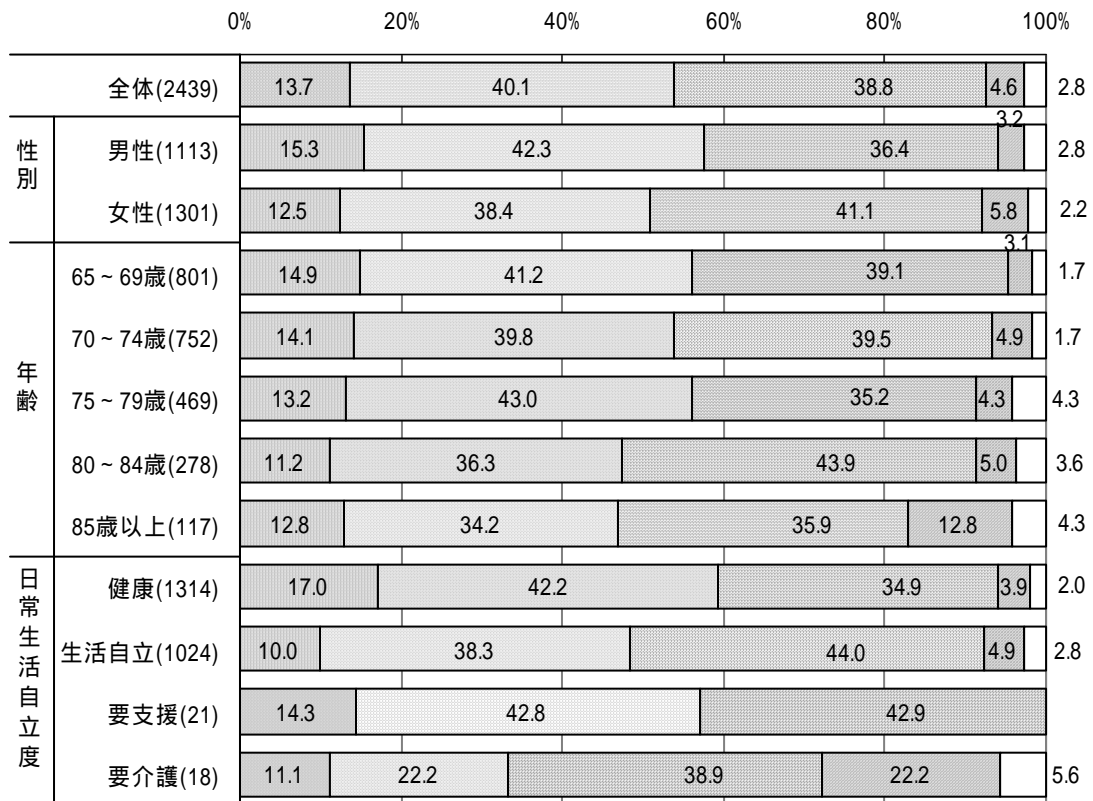
5 介護保険制度

(1) 介護保険制度の周知状況

介護保険制度の周知状況について、「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた割合は53.8%となっています。一方で「あまり知らない」が38.8%となっています。

「よく知っている」と「だいたい知っている」を合わせた割合について、性別にみると、女性で低くなっています。また、年齢別では、80歳以上で低くなっています。日常生活自立度別では、要介護の人で低くなっています。

図1 - 9 介護保険制度の周知状況



よく知っている だいたい知っている
 あまり(内容まで)知らない 知らない
 無回答

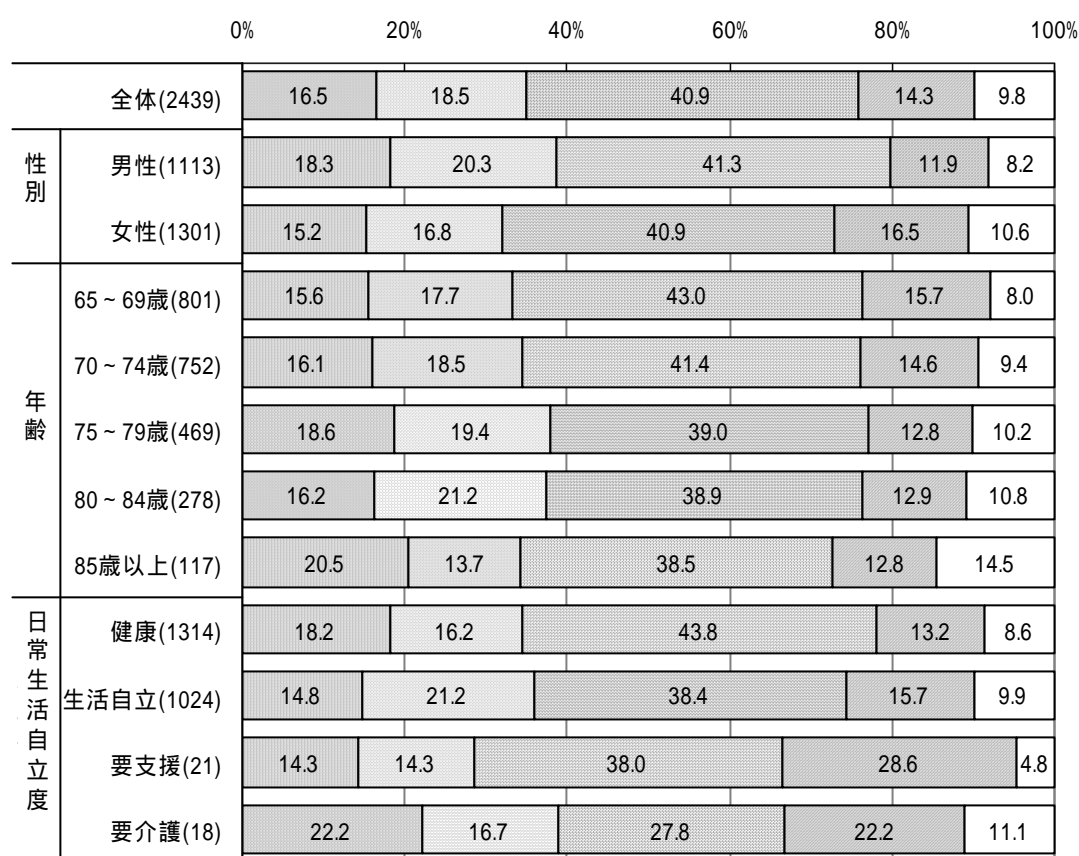
()内は有効回答数

(2) 介護サービスの水準と保険料について

介護サービスの水準と保険料とのバランスについてみると、「現在のサービスで現在の保険料がいい」が40.9%で最も高くなっています。

年齢別にみると、「現在のサービスで現在の保険料がいい」の割合は年齢が若くなるほど高くなる傾向があります。日常生活自立度別では、自立度が高いほど「現在のサービスで現在の保険料がいい」の割合が高くなる傾向があります。

図1 - 10 介護保険サービスの水準と保険料について



- 保険料は高くてもサービスが充実しているほうがいい
- サービスは充実してなくても保険料が安い方がいい
- 現在のサービスで現在の保険料がいい
- その他
- 無回答

() 内は有効回答数

「その他」として記入は、次のとおりです。

介護を受けたことがないから、現在のサービスがどんなかわからない。

(54件)

保険料は安くしてサービスを充実する。(45件)

わからない。(38件)

内容についての知識がない。(29件)

現在の保険料で内容を充実してほしい。(11件)

保険料が高すぎる。(11件)

現在は何も考えていない。(4件)

現在のサービス状態が余りわからないが保険料は現在で良い。

お金がないからサービスしてもらえないと思っている。

収入が年金のみの場合の充実した介護が心配。

年金生活で高い保険料を支払うのには、切り詰めた食生活を強いられている。

年金生活で他に収入がないから保険料が安いに越したことはない。

低収入者に充実したサービスが当然。

今後のことであるが障害の認定を正しく認知してくれないと不公平の原因となる。

保健制度が出来てより掛け続けていますが家族が着るといってくれています。元氣な人が福祉の必要な人の助け合いかと自覚している心算ですが掛け金をつけることは不可能なのでしょうか。

制度が維持できる範囲でサービスを充実されたい。

サービスが充実している方が言いに決まっています。でも私には保険料の高いというのは先立つものがありません。お金のない人でもどうにか普通のサービスで入所できるところを増やしてほしいと思います。

保険料がやや高い感じがする。月に5000円までにしてほしい。

難しい問題です。高齢者の負担額(保険料)が生活に及ぼす程度をそのときの社会情勢とあわせ考えサービス内容を策定する。

現在必ずしも透明性がいいと思わないので、保険料、サービスに関する情報公開に勤めてほしい。

保険料は今のままで仕方ないとしても高齢者には保険料はなしにしてもっと国が補助金を出すべきだと思っています。

特別養護老人ホームなどを見学してから出ないので実態がよくわからないので返答に困る。30代のころ老人の介護をしたことがあります、1日とか3日というわけに行かないので口で言うほど簡単ではない。

保険料安く、サービス適当でよい。

どのくらいの費用がいるのか知りたい。

介護保険サービスをまだ受ける必要がない方でも受けておられますのでもう少し厳しい審査が必要と思います。

保険料は現在よりあまり高くなつては困るが施設入所の場合などは自己負担がかかるのは仕方ないと思う。

サービスが充実すれば保険料が高くなるのはおかしい。

介護サービスの充実は、現在以上（介護する側の人材の向上）求めます。保険料は現在より高いのは無理がある。

いろいろな面から、見直しが必要なのではないですか。

この設問は全く愚問である。私共が望むのは保険料が安価でより良いサービスが享受できることである。先ず現在の保険料で更に高度な介護。サービスを提供するには如何にすべきかを考えるべきである。例えば 社会情勢、経済状況を見通し、年金制度をはじめ老後の社会保障制度、市民感情等々の再認識。 介護設定の整合性に対する徹底監督。 運営上の歳出の徹底見直しと削減。 施設や介護業者の経営・運営の管理監督、等々精査及び実行することにより、現行保険料を維持しながらサービスの向上を図ることが出来る。常に行政の体填は企業でいう放漫経営に等しい部分がある。サービスを向上させるには保険料が高くなる。保険料が安ければ底サービスになると言った安易な考え方は余りにも幼稚と言わざるを得ない。

年金（わづか）で月額 3500 円の保険料は高い。利用するか分からないのに。

今のところあまり考えたことがありませんが保険料が上がるのは年金生活者にとって大変です。

保険料は安い方がいいです。もらう年金が少ないため。

年金生活のため介護保険料はできるだけ安いほうが良い。できれば国民健康保険の資金で運用していただければ有り難いです。年金（厚生）は少しずつ減少している。

年金で何とか生活している立場にとって答えは難しい。

ホームや施設が高額だと聞いているが、ホーム内の介護がどの程度なのか人は色々言うので実態がわからない。サービスが充実している方がいいのは当たり前の事だが、年金の手取りが少なくではサービスを受けるに限度がある。

サービスがしてもらうことがいいが保険料が高くなるからこまる。少しの年金では介護保険料が高くなっても困る。生活が出来ない。

年金の範囲内。

今は普通の生活してますのでどちらともいえない。

保険料の決め方がふに落ちない。自分よりも収入の多い人が保険料が安い。

要介護認定は受けたがよくわからない。

1 番通いと思うけれど高さが問題である。常識の範囲でサービスが充実していた方が良い。

過剰サービスは要りません。

収入がないので元気で頑張りたいと思っている。
年金生活では何の期待できない。
サービスが充実しているから高いのではなく、本当のサービスの質が良いえおいうことを良く考えてほしい。
現在何をサービスしていただいていますか。
保険料は適度と思っているし、今の所介護の必要もないので、あまり関心を持っていません。
未だ介護保険に入れないで居る。
何も受けていません。保険料を安くしてほしい。
所得の低い人に安心して受けられる様な制度に見直してほしい。
介護は充分してもらいたいです、する方の不正を十分監視する必要があると思います。
その保険料を少子化対策に全部使え。老人保険は不要。
保険料が高く必要と聞いて心配する。
保険料なしでよい。
国保、介護で 15000 円違い保険料はとても辛いです。年金が少ないので。
料金は安いに越したことはない。
ひとり暮らしのため国民年金が少ないためなんともいえない。
介護保険はない方がいい。
貧乏な人間は保険料があまり高くは払いきいし保険料もふつうでサービスもふつうでよいと私は考えます。
 の中間。
負担が少ない方を望みます。
手頃な価格でまあまあな設備。
現在のサービスでも年金保険料以上に負担割合が多くなる。制変の運営には予約・計画など有効な手段をしなければならぬ(党・政変の大方の意向に反しても、省側は制変の拡大の道筋を探るなどの動きから現状維持が精一杯のはず)。不要。
ほどほどの料金でサービスは充実してたほうがよい。
子ども夫婦と生活しているけど、一人では生活全体出来ない。介護保険料は上がる事はあっても下がる事はないので何とかしてほしい。なぜ利用料が多くなれば保険料が上がるのか意味わからない。老人を苦しめることになります。結局はお金がある人はいいいけど…。そうなる若くは若い夫婦への負担になるのではないですか？そして子どもたちへの負担になります。
あまり多くしない方がいい。
私の知っている範囲では十分過ぎるよう思われますので保険料を上げないで必要があれば自己負担でと思います。
現在のサービス程度でより保険料は多くの値上げもやむ終えない。

保険料が高くなる傾向にありますが無駄な支出がないか点検も必要です。
現在そういう体になっていないので、あまり考えたことがないのでよくわかりません。これから考えようと思います。

介護サービスを100%理解していませんのでどちらともいえない。

これ以上保険料が上がるのは大変と思う。

保険料についても不適。ホームまたは施設入所待日数考えてください。

老人ホームや保健施設などの事をくわしくわからないのでどのようなものか？

保険料もサービスも必要と思う。

収入がないので保険料はできるだけ安くサービスは落ちないほうが良い。

保険料は安い方がいい。

介護保険制度は廃止すべきです。水増し請求、その他の問題が多い。年金からの天引きも不合理。

自営の者同士で国民年金の給付金金額で今以上に介護保険料が高くなると生活が出来なくなるから困ります。

サービスに対して保険料が納得できるものであれば良い。

が良いといってもどれだけ保険料が高くなるのか又その為施設に入れなくなるのではと心配です。

介護保険をわずか月三万そこそこののに通帳から引き落とされ行く行く介護を希望される人だけにしてほしい。

年金生活でも格差が有れど安い悪かるは困ります。

保険料が安く出来るようたえず工夫が必要。

福祉を一番重要視した予算に組替えるべき。

保険料があまり高くなるのは困るが、サービスの充実も欠かせないと思う。しかし利用者自身が出来ただけ自己努力する、という意識を育てることも重要と思う。

介護内容をよく知らないなので、えらびにくい。保険料はほどほどでサービスは個人のオプション制をプラスする方法もあるのではないか？

介護の現場を見たことがないので介護サービスの充実と保険料との比較が出来ない。

現在のサービスの内容がはっきり分かりません。サービスを受けたことがありませんから。でも安かろう悪かろうでは困ります。でも高齢で身体が衰えたとき、回復はあまり望めないで、長い間高い料金を支払うことも出来ないかもしれません。複雑ですね。

介護を受ける様になればサービス、保険料の事も分かります。

収入に応じて選択できりの方が良い。

6 充実の必要があると考えられるサービス

充実していく必要があると考えられるサービスについては、「特別養護老人ホームや老人保健施設の整備」(37.4%)、「家族介護手当等の支給」(34.5%)、「訪問系サービスの充実」(34.3%)が30%を超えています。これらの3項目については、いずれも前期高齢者で高くなっています。

また、「訪問系サービスの充実」は、性別では男性、家族構成別では高齢者のみの世帯、日常生活自立度別では要介護の人で高くなっています。一方、「通所サービスの充実」は、日常生活自立度が要介護の人で高くなっています。

表1 - 1 充実の必要があると考えられるサービス

(単位；%)

区分		特別養護老人ホームや老人保健施設の整備	訪問介護ホームヘルプサービスや訪問看護等の訪問系サービスの充実	短期入所(ショートステイ)の充実	通所介護(デイサービス、通所リハビリケア)等の通所サービスの充実	介護保険対象外のサービスの充実(紙オムツの支給・移送サービス等)	介護予防の推進	家族介護手当等の支給	認知症(痴呆)高齢者に対する施策の充実	その他	無回答
全体(2439)		37.4	34.3	21.5	25.7	17.6	17.6	34.5	24.8	5.7	13.7
性別	男性(1113)	39.5	36.5	21.7	25.1	15.2	21.5	34.7	25.6	5.6	11.6
	女性(1301)	36.0	32.9	21.6	26.7	19.8	14.6	34.4	24.7	5.8	14.8
年齢	65～69歳(801)	38.3	37.1	22.0	27.2	19.7	20.1	37.2	28.7	5.9	9.2
	70～74歳(752)	40.7	35.4	24.2	25.8	17.2	19.0	34.6	24.5	5.6	13.7
	75～79歳(469)	36.7	32.0	19.6	23.7	14.5	13.4	33.3	21.3	5.8	16.2
	80～84歳(278)	34.9	30.9	18.0	24.8	19.8	15.5	31.7	20.7	5.6	16.9
	85歳以上(117)	24.8	29.9	20.5	29.9	15.4	16.2	29.1	23.9	5.1	17.9
家族構成	ひとり暮らし(372)	37.4	34.7	15.1	21.5	15.6	14.2	18.3	18.3	5.9	19.1
	高齢者のみの世帯(959)	43.3	36.5	24.4	27.0	15.6	18.9	32.4	27.1	6.2	10.6
	その他の世帯(1076)	33.2	32.9	21.7	26.6	20.3	18.1	42.2	25.6	5.4	13.2
日常生活自立度	健康(1314)	39.4	34.3	22.5	27.8	17.7	19.9	34.6	26.3	5.6	12.3
	生活自立(1024)	36.6	35.4	21.3	24.2	17.6	15.5	34.8	24.1	6.1	14.5
	要支援(21)	28.6	23.8	14.3	19.0	23.8	28.6	23.8	14.3	4.8	9.5
	要介護(18)	16.7	38.9	22.2	38.9	27.8	0.0	44.4	38.9	0.0	5.6

「その他」として記入は、次のとおりです。

わからない。(25件)

考えたことがない。(7件)

現在利用していないので、よく分からない。(6件)

現在健康ですのでよくわからない。(5件)

近くの保育所等老人にも開放し交流したい。

低所得者でもうけられるならばよい。現在、勉強不足で現状がよくわからない。

家族の世話になるので介護は必要ない。

介護士の資質の向上や教育の徹底。

元気な高齢者が、元気を維持していくため、公民館、コミュニティセンター等の施設にカラオケ等の機器の配備、ゲートボール、卓球等の会場の整備、スポーツジム等への割引券の交付等。

ヘルパーさんの時間給をもっと上げてください。

現在、元気であるからよくわからないが、万一自分の立場になったら全てをお願いしたいから。

死ぬまで自分のことは自分でやりたい。

年金に応じた施設と本人の体力、能力を重視した介護であること。

現在のままでよい。

どの程度のサービスが充実となるかわからない。

出来るだけ人の世話にならないような人生が送れるように健康で生活が出来るような予防を考えるべき。システムの充実。

サービス拡大の方向のみに進むことのないよう。

充実しようと思えば、保険料がさらに高くなる。今の程度でよいのではないか。公共の特別養護老人ホームは少なすぎる。民間の施設は高すぎて一般の人々は入れない。制度はあってないのに等しいと思う。行政に携わる人は真剣に考えているのだろうか疑いたくなる。

1~8まで全部それぞれに必要なことと思われる。

現在は施設が多すぎると思います。入って喜んでいる人ばかりではありません。

介護のサービスは良好である。

難病患者(老若を問わず)介護(今3ヶ月ごとに病院の入院はたらいまわしと聞く)

全て反対。無用の制度。

地域での(いきいきサロン)の充実により病気等が少なくなるのでは。

そのときにならないとわからない。

今のところ調べていない。

いづれ世話になるので家族の分担金が少ないのが望ましい。

これ以上必要ない。

福祉施設事業者自身の意識改革。福祉とはが問われている。

介護を受けてみないとわからない。

実感ない。

借金を増やさない。将来の人々にも同じサービスが受けられるよう。

実情がつかめていないので分からない。

今は、まだ若いので全然考えていない。

これから自分がどのようになるか分かりませんので、はっきりと云えません。

出来るだけしっかり我慢して、家族の看護で頑張る心算です。

今の段階では、本人が行きたがらないが、いずれお世話にならなくてはという本人の自覚もある。が、家族としては出来るだけ本人の意思を尊重したい。だれもが全てサービスを受けたいとは思わない様だ。だが、気楽なお茶飲みサロンがあればよいと思うが。本来人間は自我があり、それを尊重するのが人としてのお互いの接する基本だと考える。

2、3日の訪問看護をお願いしたことがありましたが、家庭に準備が出来ていませんが、良くやっただきました。施設のことは分かりません。将来の不安が大きくなってきました。

今の所不明。

問9と同様で、まだ自分が実際に体験してないので がつけられない。

現在対象者でないのでは分からない。

とにかく介護はうけません。受ける位なら死にます。

私自身は、今自分で日常の事は出来ますがこれから年老いていく自分がどのような形になっていくか分からないし、家族の者にもあまり迷惑をかけたくないと思うと、全部が必要になるのではないかと思います。

介護を必要とする人にはできるだけはやく対応していただきたいと思います。

現実には受けていませんので分かりませんが、近所に老人ホームあります。皆さん良くして貰ってます。

学習療法で痴呆を改善に力を入れていただきたい。

元気で頑張っている人に手当金支給。

自分が受けていないので、サービスとか充実とかどの程度のサービスをされているのか充実ができていないのか分からないので、何事もより高度の介護が受けられるよう願います。

現在どんなサービスがあるのか、又内容なのか知らないので 印のつけようがありません。

入院中、意思の疎通が困難。

入所設備を増設してほしい。

保険料をあげない工夫。

老人介護の基本的理念 - それは家族が行うものであるという道徳意識の啓蒙、指導、のための施策。

私は現在病院にかかりながら動いておりますのでもっと先にお願ひ致します。

一人暮らしのため、今後お世話になるとと思いますが、その時の為に参考になるように本、又は、健康教育を受けたらよいと思います。

